



# 志村学園

ともに、歩こう

校長 並木 信治

本日で、令和5年度の教育活動がすべて終了いたします。今年度も、本校への御理解、御協力を誠にありがとうございました。小春日和の3月16日(土)、78名の卒業生が晴れやかに羽ばたいていきました。三年間学びぬいた誇りを胸に、社会で活躍することを願ってやみません。



## 【校長式辞(抜粋)】

就業技術科九期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんにとって、今日は新たな世界への旅立ちの日です。これからの人生は、まさに、皆さん一人一人が主人公です。人は誰でも、得意なこともあれば、苦手なこともあります。一人一人が違っているからこそ、互いに助け合い、支え合える社会を築くことができるのです。苦手なことや、出来ないことがあってもいいのです。助けが必要な時は、きちんとそのことを言葉で伝えて手伝ってもらいましょう。そして、誰かが手助けを求めていることに気づいた時には、自ら行動してその人の力になってあげてください。皆さんのそうした一つ一つの行動が、より良い社会を築くきっかけとなるはずです。変化の激しいこの三年間、志村学園で学びぬいた皆さんならきっとできるはずです。共に笑い、共に学んだ仲間との絆を大切に、どこまでも自分らしく、胸を張り、自信と誇りをもって新たな一步を踏み出してください。あなたは、あなたであることが素晴らしいのです。

たくさんの「初めて」に触れ、様々な経験を重ねた一年生の皆さん、現場実習を重ねて進路選択の焦点が定まり始めた二年生の皆さんにとっても、進級という学校生活の大きな節目となる年度末です。4月からの新たなステージを、私たち教職員もともに一歩ずつ歩んでいきたいと思えます。

新年度も、引き続き御理解、御協力のほど、よろしく願いいたします。

## 物語 ～ 私たちの成長のストーリー ～

副校長 加部 務

「物語」、このタイトルは、九期生の卒業文集の表題です。九期生は新型コロナウイルスの影響による様々な教育活動の制限を受けながらも、それぞれの目標に向かって、成長した自分の物語を描きあげて社会へ旅立ちました。

一年生、二年生の皆さんも、この一年間でどんな成長の物語が描けますか。一年生の皆さんは、自分と向き合う時間が増えたのではないのでしょうか。二年生は、自分の進路を具体的に考えられるようになったことでしょうか。四月からは、それぞれ進級します。更に自分の可能性伸ばすために、いろいろなことに挑戦していくことを期待しています。

保護者の皆様、関係の皆様がたくさん御理解、御協力に心から感謝申し上げます。来年度も充実した教育活動に努めてまいりますので、引き続き、御理解、御協力いただきますよう、お願いいたします。

## 令和五年度東京都立志村学園高等部就業技術科卒業式 第九期生 答辞

第三学年主任 会田 高代

令和六年三月十六日（土）に、就業技術科の卒業式が行われ、第九期生は社会に巣立ってきました。卒業生の答辞を紹介します。

### 答 辞

頬を伝わる風が和らぎ、志村学園の様々な植物たちもようやく長い冬を乗り越え、春の訪れが感じられます。本日は、私たち九期生七十八名のために、このような温かい卒業式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

入学してから今日までの三年間は、長いようであつという間でした。三年前の私たちは、初めての環境に対し、たくさんの不安を抱えていました。その一方で、新しい環境に期待もし、志村学園の門をくぐりました。入学式では、たくさんの先生方や先輩方が温かい雰囲気でもてなしてくださったことを思い出します。

一年生の時は、新型コロナウイルスの影響により、様々な制限のもと、学校生活を送りました。そのような状況の中でも、新しくできた仲間と毎日楽しく志村学園で学ぶことができ嬉しかったです。また、職業に関する教科は、普通教科に比べ、立っている時間が長く大変でした。しかし、特別専門講師の先生方が、私たちの興味を惹くように、知識や技術を教えてくださったことにより、とても楽しく学ぶことができました。

学校生活を送る中で思い出に残っていることの一つに、二年生の時について経験できた修学旅行があります。長崎を訪れることはできませんでしたが、先生方やクラスメイトと鎌倉や八景島シーパラダイスを回り、楽しく過ごすことができました。

そして、三年生で経験した江戸・東京ウォークⅢも印象深い思い出の一つです。距離は長く大変でしたが、当日は恵まれた天候で、クラスメイトと笑い合いながら歩き切り、クラスの絆を深めることができました。

さらに、部活動でもたくさんの思い出があります。私は一年生の時に、先輩方の恰好よく走っている姿や優しい人柄に憧れ、陸上競技部に入部しました。三年間の部活動生活の中では、満足なタイムが出なかったり、失敗をひきずったりして辛いということもありました。その時は、部員同士で言葉を掛け合い、助け合いながら活動することで、それぞれが目標とする記録を出すことができました。

志村学園での三年間では、楽しい思い出をたくさん作ることができました。今までお世話になったたくさんの方々に感謝の言葉を申し上げます。

経営企画室の方をはじめとする職員の方々。書類のことや学校設備のこと、毎日のおいしい給食など、多くの所で私たちは支えられてきました。三年間本当にありがとうございました。

先生方は、楽しい時も辛い時も、側にいて話し相手になってくださいました。困難なことにぶつかった時も、先生方からのアドバイスを武器にして乗り越え、様々なことにチャレンジをすることができました。

そして、保護者の皆様は、私たちにとって一番そばで支えてくださる存在でした。私たちが生まれてから今まで、大変な思いがあったかもしれませんが、それでも、日々成長している姿を毎日笑顔で見守ってくれた保護者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちはこの先、新たな道に進んでいきます。その道の途中には、予測ができないようなことがきっとあるはずです。そのような時には、この三年間、志村学園で学んだことを思い出して、どんなことにも前向きに挑戦していきます。

私たち九期生は、この思いを忘れずに社会ではばたくことを誓い、答辞の言葉とさせていただきます。